

事例 17 効率的なシカ捕獲手法の普及

(近畿中国森林管理局)



- ・鳥取県東伯郡(とうはくぐん)三朝町(みささちょう)
三徳谷(みとくだに)国有林
- ・シカ捕獲手法の実演会の様子

シカ等の野生鳥獣による森林被害は、国有林野においても深刻な状況が続いています。森林被害の軽減に向けて有害鳥獣の効率的な捕獲等被害対策の推進が課題となっています。

近畿中国森林管理局では、職員が考案した改良型わな(小林式誘引捕獲[※])の普及に取り組んでいます。従来のくくりわなは、適切にけもの道に設置するなどシカを捕獲するためには経験を積む必要がありました。

小林式誘引捕獲は、シカが餌を食べる際に、口元へ前足を置く習性を利用して、くくりわなと餌を組み合わせることにより、初心者でも簡単で効率良くシカを捕獲することができます。シカを誘引することで道路脇等見回りや捕獲後の処理等に有利な箇所に設置できるメリットがあります。

同局では、平成28年度から小林式誘引捕獲の普及を進めています。初年度では捕獲頭数55頭(同局内での採用率約1割。採用率：全捕獲数のうち小林式誘引捕獲を採用した捕獲数の割合)でしたが、令和2年度には496頭(採用率約6割)に上昇しました。あわせて、自治体職員や猟友会員等に対する講習会を4か所で開催し、関東森林管理局との技術交流等も実施しています。

引き続き、森林被害の軽減のため安全で効率的な捕獲手法の普及に取り組むこととしています。

小林式誘引捕獲について(同局のホームページアドレス)



<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sodateyou/attach/kobayashisiki.html>